

2021年11月26日

2021年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人 子どもセンター・パオ
代表者・役職名 氏名 理事長 菱田 理

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

子どもたちにより快適な生活空間を！(施設の環境整備事業)

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当施設は、虐待により心身共に傷ついた少女が社会に出る準備をその子のペースでゆっくりできるようにと働くことを前提としない自立援助ホームです。働くことを前提としない自立援助ホームは数少なく、当施設の社会的意義は大きいと自負しております。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子どもたちにより快適な生活空間を！(施設の環境整備事業)虐待等で傷ついた子ども達が安全に安心して快適に過ごすことのできる生活空間を目指します。スタッフルームでの話が子ども達に聞こえてしまうことがあります。デリケートな話も多いので防音対策の必要性があります。また新型コロナ対策としてセンサー式の蛇口へ改修する必要性があります。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

施設開所から約10年が経過し古くなり調子の悪い箇所の修繕及び新型コロナ対策のため必要な修繕を行い、子ども達にとってより快適な生活空間を目指します。具体的には①効かなくなったエアコンの交換、②防音対策のためドアの改修、収納BOXの設置、③手元が暗いキッチンを明るくするため照明の設置、④動かなくなった換気扇の交換④トイレの手洗いを手回し蛇口からセンサー式への改善を行います。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

防音対策が出来て、スタッフルームでの協議がし易くなりました。また、調子の悪かったエアコン等の設備の改修、コロナ対策のため蛇口の改修などを行ない子ども達により快適な生活空間を提供することができるようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

生活環境の向上によって、子ども達がより快適な環境の中で、心と体を休めて、再び旅立つ元気を養うことができるようになりました。今後も適宜改修して、快適な環境を維持していきたいと思います。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

